

# 令和7年度「こうとう未来ミーティング」特別回 実施結果

テーマ：未来の女性活躍

開催日：令和7年7月23日(水曜日)

会場：江東区文化センター 展示室

参加人数：23名(江東区に所在する高等学校の女子生徒の皆さん)

実施形態：参加者によるグループワーク(意見交換)



## ■主なご意見・ご提案等

### 【グループ1】

- ・たばこ休憩やお酒の付き合いなど、仕事外での関係性の構築に女性は入りづらい。これは、女性の活躍において障壁の一つだと思う。
- ・職場で男女関係なく良好な人間関係を築くために、コミュニティの形成を組織的に取り組んではどうか。気軽に参加できる、スキルアップのための勉強会など。
- ・子育ては女性の活躍推進において壁になってしまうかもしれないため、柔軟な働き方を取り入れることが必要。
- ・オンライン会議が推進されていますが、環境の確保が難しいことがあります。例えば、周囲の工事の音や、こどもの声が気になる場合もあるため、会社がオンライン会議の環境整備に協力してほしい。
- ・女性が働きやすい環境として、会社内に託児所をつくることも解決策だと思う。
- ・女性の取得率が低い資格もあると思うので、資格取得の支援も大事だと思う。
- ・理系女子向けの就職等に関する説明会を開いてほしい。
- ・女性の活躍については、言語の違いがあるとより難しいと思うので、外国人女性への支援はどのようなものがあるのか知りたい。

### 【グループ2】

- ・子育てと仕事は、まだ経験したことがないためイメージが湧かず、不安を感じている。
- ・女性管理職の割合や立ち位置、生涯年収などに不安がある。
- ・男性の育児参加、教育費に関する金銭的な支援、シングルマザーへの支援など、仕事と子育てに関する不安要素が多い。

- ・高校生向けのキッズニアをつくってほしい。例えば、男性の育児参加率を上げるために、男子高校生に対して育児に関する説明を行ったり、疑似体験をしてもらう。女性も男性同様、高校生向けキッズニアでの経験により、高校生でも子育てや仕事に対する不安を減らせるかもしれない。
- ・理系の先生には女性が少ないので、増やしてもらいたい。

### 【グループ3】

- ・生理に対する男性の理解が十分ではない。
- ・女性が働きやすい環境づくりが必要。
- ・社会人の成功像として男性が挙げられることが多く、男性優位な考え方がある。
- ・女性特有の特技（強み）の活かし方や、豊富な働き方について知りたい。
- ・女性が活躍するためには、育児や介護に関するサポートが必要。
- ・偏見をなくすことが必要。
- ・女性自身も考え方を見直さないといけないことがある。

### 【グループ4】

- ・女性管理職が少ない現実はあるが、管理職が女性特有の事情（体調等）によって休むと、会社として困る面もあると思うので、少ない理由も納得できる。
- ・テレワーク等を活用し、自分が働きやすい時間帯に働いて、1日の合計勤務時間で考えられるといいと思う。
- ・介護職が減っていると思うが、人間関係のトラブルや賃金が低いことなどが要因ではないか。
- ・比較的給料が低いというイメージがあるため、介護職への就職をためらってしまう。
- ・結婚や出産を考えている人が減っている。結婚が減るとウエディング関連の仕事が無くなってしまわないか。
- ・グループ内5名のうち、結婚したいと考えている人は4名であったが、出産については全員「一旦考えたい」という結果であった。
- ・生理については、個人差があるが、学校生活、テスト期間、プライベートなど、容赦なくやってくるのでしんどい。子育てをしていなくても生理はあるので、支援の充実が必要。
- ・育休の取得は女性に多いイメージがある。
- ・男性が育休を取ったとしても、こどもが食べてはいけないもの等、子育てに関する知識が足りず、こどもが危険に晒される場合がある。
- ・女性にしかできないこともあるが、力仕事やこどもの看病など、男性でもできることは男性にやってもらいたい。
- ・出産は女性にしかできないので、女性への支援は充実させてほしい。
- ・大工に興味があったが、力仕事かつ危険なイメージがあるため、難しいと感じている。

- ・理系女子の集まりをつかってほしい。